

## 感染症情報

1月19日～25日(第4週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。  
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★		しばらくありません
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★★		1例ありました
⑤	百日咳	★		しばらくありません
⑥	溶連菌感染症	★★★	↑	増加傾向です
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★		しばらくありません
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★		
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★★	↑	ノロが増加傾向です
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★		
⑪	手足口病	★		
⑫	ヘルパンギーナ	★		
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★		
⑭	アデノウイルス感染症	★★	→	まれにみられます
⑮	上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★		
⑯	RSウイルス感染症	★		
⑰	インフルエンザ	★★★	↓	B型が増加傾向です
⑱	新型コロナウイルス感染 症	★		
⑲	ヒトメニューモウイルス感染症	★		
⑳	その他のかぜ症候群	★★★	↑	高熱があります

現在、全体的に感染症は落ちています。増加傾向なのは「溶連菌感染症」と「ノロウイルス性胃腸炎」です。今後もしばらくは続くと思われます。

「インフルエンザ」は昨年51週(12月下旬)をピークに減少傾向です。特に正月休み明けは少なく終息するのではと思われましたが、B型が増加傾向にあり現在A型とB型が同程度混在しています。

例年今頃流行している「RSウイルス感染症」は最近みられていません。また昨年流行していた「マイコプラズマ感染症」「百日咳」「水痘」もしばらくみられていません。

1日高熱がありインフルエンザ等陰性のかぜ症候群がかなりみられます。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある